

高知県黒潮町の ゼロカーボン行動計画

カーボンニュートラルの実現 持続可能な黒潮町の地域循環イメージ



想定津波高34.4m！ 衝撃の被害想定を町全体で 乗り越えた高知県黒潮町の挑戦（前編）



復興

サステナビリティ

まち

四国

橋富 政彦（特記なき写真：編集部）

高知県西南部に位置する太平洋沿いの町、黒潮町。風光明媚でカツオの一本釣りが盛んなこの町は、東日本大震災から1年後の2012年、大きな課題を突きつけられた。内閣府が公表した南海トラフ巨大地震被害想定で、“日本で最も高い津波が来る町”とされたのだ。その最大津波高は34.4m。この衝撃的な数字に、大きな注目を集めることになった黒潮町だが、それから約8年経った現在では、海外からも視察が訪れる“防災先進地”として知られるようになっていく。黒潮町はどのように防災に取り組んできたのか。津波被害想定公表以来、防災計画、対策事業の指揮をとってきた大西勝也町長に聞いた。



黒潮町では、住民たちが何度もワークショップを重ねて実情を調査していった（資料：黒潮町）

世帯別津波避難行動記入シート

記入のしかた

大特内の説明

家族構成

ご家族の情報を記入してください。

番号	氏名 (○印:代表者)	性別	年齢	ご自分で避難 が出来ますか	(自力避難できない場合) 家族の力で避難可能ですか
1	黒潮 太郎	男	40歳	○ できる	○ できる
2	黒潮 花子	女	42歳	○ できる	○ できる
3	黒潮 一郎	男	12歳	○ できる	○ できる
4	黒潮 ハル子	女	80歳	○ できる	○ できる
5				○ できる	○ できる

自力(家族)避難の可否

連絡先を記載してください。

第1連絡先 0880-xxx-xxxx (自宅の固定)

第2連絡先 090-xxxx-xxxx (黒潮太郎の携帯)

第3連絡先

避難上の心配事

津波避難の情報を記入してください。

番号	津波避難場所		家族避難参加状況	
	第1候補	第2候補	いつ頃	避難にかかった時間
1	黒潮集会所	黒潮神社	H23年度頃	12分程度
2	"	"	H24年度頃	14分程度
3	"	"	"	14分程度
4	"	"	不参加	—分程度
5				分程度
6				分程度
7				
8				

避難先と所要時間

現在考えられている津波避難の方法

番号	どのような方法で避難を考えていますか
1	徒歩・自動車・バイク・自転車・その他
2	徒歩・自動車・バイク・自転車・その他
3	徒歩・自動車・バイク・自転車・その他
4	徒歩・自動車・バイク・自転車・その他 車イス
5	徒歩・自動車・バイク・自転車・その他
6	徒歩・自動車・自転車・その他
7	
8	

徒歩や自動車などの避難方法

防災となり組

■最寄りの「防災となり組」
大規模災害が発生した場合、となり・近所の助け合いが重要となってきます。
このようなとなり・近所の助け合いを「防災となり組」と呼んでいます。
あなたの「防災となり組」となり得る方を記載してください。

「防災となり組」① 西万十 次郎 さん(自宅から 50m 程度)

「防災となり組」② 西万十 二郎 さん(自宅から 100m 程度)

「防災となり組」③

住宅耐震状況

■ご自宅の情報を記入してください。

ご自宅	築年数又は建築年	耐震診断	耐震補強工事
	築 37 年 (昭和 50 年建築)	実施済み	実施済み (実施していない)

家具固定の状況

■家具転倒防止の実施状況を記入してください。

居室・居間・台所) ・ 固定していない

支援可能な方の有無

■ご家族で現役またはOB、OGで医師、弁護士、検察官、司法書士、公認会計士、税理士、社会福祉士、児童福祉司、作業療法士、ヘルパー、介護士、消防士などの有資格者がいらっしゃいましたら、その情報を記載してください。

・花子が現役ヘルパーである。

個人情報
情報提供先

■個人情報保護及び共有について
世帯別津波避難行動調査で入手した個人情報は防災対策には使用しません。
また、この情報は役場内関係部署の他、下記の関係機関へ情報共有を行い、各機関での今後の防災計画等に反映していきたいと考えています。
情報共有してもらいたくない関係機関がありましたら、該当欄に「×」印をお願いします。

役場	警察署	消防署	区長	民生委員	消防団	社会福祉協議会

世帯ごとに「避難カルテ」も作成した。災害時に近所で助け合える人の名前を記載した「防災となり組」という項目も（資料：黒潮町）

団体名	[Blue Box]	出欠
高知工科大学システム工学群 教授		
四国海と生き物研究室 代表		
特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館 理事長		
一般社団法人 黒潮町観光ネットワーク 代表理事		
黒潮町商工会 会長		
黒潮若手の会 会長		
高知県漁業協同組合 佐賀統括支所 支所長		
高知県農業協同組合 幡東営農センター センター長		
幡東森林組合 参事		
うみのこども（高知県地球温暖化防止活動推進員）		
高知県地球温暖化防止県民会議 県民部会長		
黒潮町役場 住民課 課長		

事務局：黒潮町住民課 **NPO 法人環境の杜こうち**

黒潮町ゼロカーボンシティ宣言
～2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて～

国際社会が重要課題に掲げている気候変動は、集中豪雨や台風の巨大化など地球規模での温暖化が原因ともいわれ、我が国においても、近年は全国各地で自然災害が頻発・激甚化し、自然の猛威により、私たちの生命や暮らしが脅かされ、さらには自然環境や生態系への悪影響など、人類の生存基盤を根本から揺るがす「気候危機」と言うべき極めて深刻な事態となっています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するために「2050年までにCO₂（二酸化炭素）の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されています。

このような中、海の恵みあふれる豊かな本町は、地震・津波と日本一うまく付き合うまちづくりを推進し、「人が元氣・自然が元氣・地域が元氣」を合言葉に、先人から受け継いだ「ふるさと」を次の世代へしっかりと引き継いでいくため、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指し、その実現に向け自然再生エネルギーの活用など「脱炭素」への取り組みを推進していくことを宣言します。

2021年（令和3年）6月1日
黒潮町長 松本敏郎

2021年6月のゼロカーボンシティ宣言、地球温暖化対策推進法改正による区域施策編策定の努力義務を受けて、高知県温暖化防止活動推進センター運営組織のNPO法人環境の杜こうちが入り、策定中。2030年度の目標は60%削減。日高村も。

時期	1.全体の運営	2.策定委員会	3.庁内作業部会	4.温室効果ガス実態調査	5.住民ニーズ調査	6.企業ニーズ調査	
4月	上旬	黒潮町役場との打合せ（各実施内容の検討・調整）					
	中旬						
	下旬			各課との調整			
5月	上旬				アンケート実施		
	中旬						
	下旬						
6月	上旬			実態調査	ポテンシャル調査		
	中旬		委員就任依頼				
	下旬					第1回開催(6/27)	
7月	上旬						
	中旬	計画素案提出	第1回開催(7/14)		第1回開催(7/16)		
	下旬			第2回開催(7/25)		第1回開催(7/26)	
8月	上旬	議事録作成・提出 委員との調整等			現地調査	アンケート実施	
	中旬						
	下旬			第3回開催(8/22)	踏まえた現地調査を		
9月	上旬					省エネ最適化診断実施	
	中旬						
	下旬				調査結果提出		
10月	上旬						
	中旬			第4回開催(10/3)			
	下旬			第2回開催(10/20)		第2回開催(10/14)	
11月	上旬		議事録作成・提出 委員との調整等				
	中旬	計画案提出					
	下旬					第2回(調整中)	
12月	上旬	パブ 募 集	議事録作成・提出 委員との調整等			省エネ診断実施	
	中旬						
	下旬						
1月	上旬				意見やアイデア等の公開	省エネ診断実施	
	中旬	コメントの公表					
	下旬			第3回開催			
	上旬						
	上旬						

4. 実際に関わった住民の想いや感想

グレタひとりぼっちの挑戦 映画上映 (7/16)



「アスペルガー症候群は私の誇り」強い意志を持ち、生きる。
SDGsの関心が高まる今だからこそ知りたい、
等身大のグレタの姿を描く注目作!

映画上映会 &

ゼロカーボンシティ黒潮町
町民井戸端会議!

映画の感想や
持続可能な町づくりについて
ワイワイお話ししましょう!

黒潮町は2050年までに、
温室効果ガス排出実質ゼロを目指します!
黒潮町の温暖化防止の取り組みについて
ご意見・ご要望などをお聞かせください!

主催:黒潮町
運営:うみのこども、NPO法人環境の社こうち
[黒潮町地球温暖化対策実行計画区域推進編集定業務]

2022年7月16日(土)

大方あかつき館
〒789 1931 南多摩郡黒潮町入野6931-3
レクチャーホール
入場無料(定員100名・要申込)
開場 13:30~
開演(映画上映) 14:00~15:45
町民井戸端会議 15:45~16:30※
どちらかのご参加も可能です。
※途中退席も可能ですのでお気軽に
ご参加下さい。

託児あり(先着順)お申込み時にご相談下さい。

お問合せ・お申込み

うみのこども
uminokodomo.kochi@gmail.com
村上・080-6280-3183
中谷・080-2971-0178

スマホでの
お申込みは
こちらから↓



4. 実際に関わった住民の想いや感想

勉強会・講演会などに合わせて実施した町民井戸端会議



4. 実際に関わった住民の想いや感想

町民のみなさんから集まった意見やアイデアなど（子育て・福祉・暮らし）

子育て、教育、食育など

子育て・福祉

場所

- ・子供が安全に遊ぶ所
- ・子供とお年寄りが一緒に見守り合う場所（知恵と活力の交換）
- ・海の近く+図書館+広場+マーケット+カフェなど、居心地の良い場所
- ・自然育児、自主保育のできる森のようちえん、リースクール
- ・バスケができるところ
- ・子育て世代、先輩が情報交換、助け合いができる場

教育

- ・黒潮町の仕事、地場の仕事を知ってほしい
- ・生物の多様性を子ども達に伝え他を認め自己を大切にできる
イジメのない教育につなげて欲しい
- ・自分で考えて、体験するこどもを育てる
- ・自然体験をたくさんしてほしい
- ・リズムのある音楽の授業

食

- ・親子料理教室
- ・オーガニック給食
- ・給食、普段の食事でも地元の食材を使う
- ・割り箸をやめてmy箸を！

福祉

- ・農福連携等を含め、閉じこもり、引きこもりの人達も輝ける
場所を作りたい
- ・すぐにかかれる病院、医療体制を作って欲しい

住居、移動、買い物、ごみなど

暮らし

買い物

- ・魚が買える所がほしい
- ・量り売りのお店
- ・地域通貨で地方経済を回す
- ・チャレンジショップ・シェアカフェ
- ・過剰包装を減らす
- ・ブラパッケージからの移行（弁当・惣菜）
- ・マイカップ割引の店が増えたら良い
- ・買い物に行ける場所・交通網の整備
- ・体に優しい食材・商品が買える所（自然食品・海や川を汚さない洗剤）
- ・まだ使えるものをリユース・リサイクル・アップサイクルして販売
→町の売り上げにして楽しいイベントなどに使う

交通

- ・カーシェアリング・シェアサイクル
- ・高速道路→自転車道路へ
- ・ソーラーカー・フリーエネルギーカー

生活

- ・コンポストで生ゴミ処理（集落単位・全家庭・キエーロ作り講習会）
- ・雨水タンク購入補助金
- ・薪ストーブの推奨
- ・太陽熱温水器の推奨
- ・空き家・遊休地の活用
- ・N0マスクシティ黒潮町
- ・ドッグランがほしい
- ・自然の風や日当たりを上手に取り入れた家づくり
- ・地元の農家さんの家庭菜園ワークショップ
- ・地元の大工さんのDIYワークショップ
- ・みんなが集まるシェアハウスを作る
- ・海、川を汚さない洗剤、シャンプーを町で推奨する
- ・通勤・通学はできるだけ公共交通機関を使ったり自転車を使う！
- ・地域の一人一人がシェア（物々交換etc.）で手を取りあい、世代を通じて助け合う

4. 実際に関わった住民の想いや感想

町民のみなさんから集まった意見やアイデアなど（仕事・その他）

会社、働き方、農業、林業、漁業など

仕事

観光

- ・海の楽しみ方を増やしたい（観光として）
- ・カーシェアリング
- ・ランタン飛ばしたい
- ・馬とビーチクリーン
- ・シーグラス、貝殻ボックスを海に設置

農業

- ・オーガニック農家が経営していける、増える
- ・農薬、化学肥料を使わない自然栽培で、川、海をきれいに
- ・若い人に農業を進めよう！

林業

- ・山を削ることで泥が流れてしまい、川が汚れてきた
- ・森林の正常化、植林の放置をやめ雑木を増やす森を取り戻して欲しい
- ・森の間伐や木の利用のできる人材育成、機会
- ・森林、山への関心を広める

産業

- ・共同加工所（食品加工所）
- ・大きなお店じゃなくて、町の小さなお店を応援したい
- ・黒潮町の資源を生かした産業で地域活性化を
- ・地下資源に頼らない一次産業化
- ・農林水産業が、子どもたちにとって美しく、健やかで、豊かな仕事として続けられる
- ・小さな仕事がたくさんあってまわる町
- ・生活ができるような働ける場所を作って欲しい
- ・エコに取り組む事業者の応援
- ・町産のラム酒と良い音楽とアートでみんなハッピーに

町についてなどいろいろ

その他

エネルギー

- ・小水力発電（集落で）
- ・自然エネルギーを活用する自家発電の町
- ・クーラーを使いすぎないで！ムダな電気を消そう！
- ・エネルギーの生産を増やす前に、各自暮らしや社会を見直したい
- ・太陽光パネルの導入は廃棄のことまで考えたものにして欲しい
- ・太陽光パネルいらない

ごみ

- ・行事でペットボトルを使わない
- ・砂浜の清掃を続けて欲しい
- ・域内で循環できるゴミのリサイクルシステム。町役場等で集めて欲しい。
- ・海のゴミがいつでも拾えて捨てられるといい

自然環境

- ・海がきれい、サーフィンができる
- ・自然の遊び場がたくさんある
- ・テレビでキリバス島が沈むという番組をみてみんなの地球を守らねば
- ・砂浜が減っている原因をちゃんと調べて後世に残して欲しい
- ・植林による川水の減少、砂利の堆積による川の生き物の住みかの減少
- ・川がすっかり変わった、子どもたちが泳いだりできなくなった

佐賀地域

- ・温泉がなくなってさびしい
- ・佐賀温泉を復活して欲しい
- ・佐賀地域を活性化したい
- ・拳の川診療所に薬局が欲しい
- ・伊与喜小学校を子ども、障害者、お年寄りのつどいの場に

その他

- ・旧上川口保育所の活用策を何か考えて欲しい
- ・SDGsの勉強ができる町（今日みたいなイベント）
- ・広報などで環境に関する情報・気軽にできそうなエコ情報を住民へ伝える

わたしたちが描いた2050年
ゼロカーボンシティ
黒潮町



- ・再エネ発電
- ・高断熱住宅
- ・薪ストーブ
- ・生ごみコンポスト
- ・家庭菜園

・高い防災機能と
コミュニケーション力を
備えた黒潮町役場

・山・川・海へとつながる
豊かな生物多様性

CO2吸収
アップ!

・人と動物・植物が
共存できるまち

- ・持続可能な林業
- ・管理された森林
- ・材木・バイオマス燃料

・充電スタンド

- ・自然の中で感性豊かに
育つこどもたち
- ・充実した気候変動教育

・歩行者・自転車に
やさしいまち

・リサイクル
ステーション

・住民参加型の町の電力会社
・エネルギーの地産地消

- ・持続可能な農業
- ・ソーラーシェアリング
- ・再エネ加温
- ・堆肥の循環

・薪ボイラーの温泉

- ・量り売り
- ・プラスチック
フリー

・地元の鮮魚
・地元の野菜

・再エネ公共交通
(バスや鉄道)

・避難タワー
エネルギーも備蓄

きれいな
海からの恵み

- ・カツオの一本釣り
- ・薫焼きたたき
- ・天日塩

- ・文化や自然を大切にした産業発展
- ・住民間の交流
- ・1ターンリターンにもやさしいまち

美しい砂浜が美術館です

・くじらも安心して
子育てできる海

黒潮町 ゼロカーボンに向けた取り組み

1) 減らす

「がまんの省エネ」ではなく、機器などの更新時に効率改善を図ることで、光熱費を削減するだけでなく、価格高騰などのエネルギー危機に強いまち

2) 創る

自然環境や景観を損なわれない再エネの導入促進により、再エネの設置およびメンテナンスをできるだけ庁内事業者が行い、売電収入や工事費などが地元事業者により地域経済循環するまち

3) 吸収する

森林再生・海洋保全に伴うCO2の吸収源対策を行うことで、木材やバイオマス資源の安定供給と土砂災害の防止、持続可能な漁業・観光産業の振興とブルーカーボンの検討

■ 図4-7にエネルギー起源 CO2排出量の将来予測を示します。

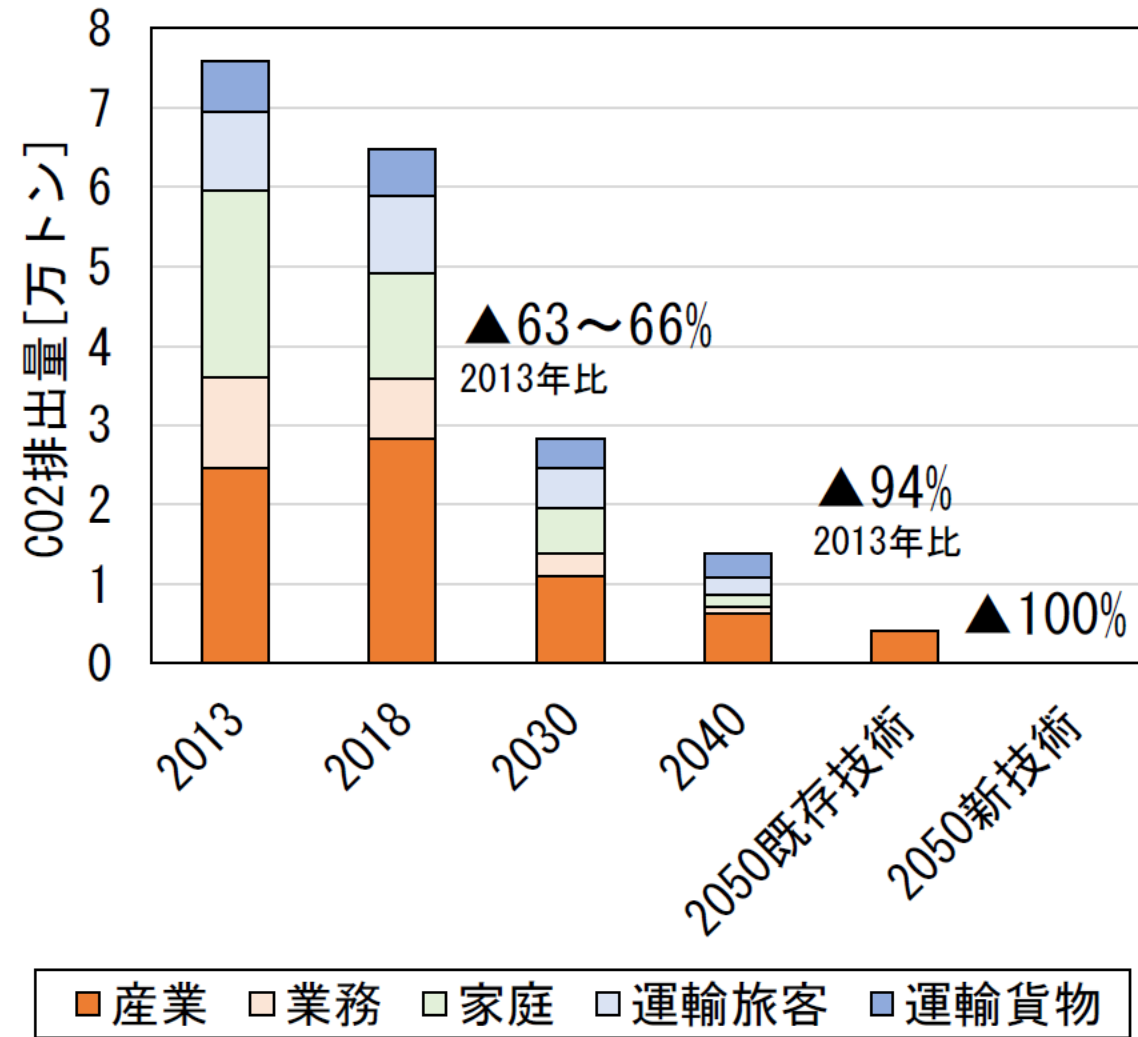


図4-7 エネルギー起源 CO2排出量の将来予測

「黒潮町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）」に関するパブリックコメント（住民の皆さんからの意見）を募集します

2022年11月30日 17時00分 更新 2022年11月30日 17時00分 公開

「黒潮町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）」について、ひろく町民の皆さまからご意見をいただくため、パブリックコメントを募集しています。

1. 意見募集の趣旨

黒潮町では地球温暖化問題を取り巻く国内外の動向を踏まえ、地球温暖化対策を更に強化していく必要から、2021年6月1日に2050年温室効果ガス排出実質ゼロを目指した「黒潮町ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

このため、「人が元気・自然が元気・地域が元気」を合言葉に、『未来への想像力をもち続けること』という理念のもと、自然再生エネルギーなどを活用した「カーボンニュートラル」への取り組みを推進する「黒潮町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を進めています。

このたび、計画案がまとまりましたので、ひろく住民の皆さまからご意見をいただくため、パブリックコメントを募集します。

2. 募集期間

令和4年11月30日（水）から令和4年12月20日（火）17時15分まで

3. 公表資料などの閲覧方法

下記リンクからダウンロードできるほか、黒潮町役場 住民課で閲覧できます。

なお、黒潮町役場 住民課での閲覧は 開庁時間（8時30分～17時15分）内に限ります。

黒潮町地球温暖化対策実行計画
区域施策編(案)

黒潮町
令和4年11月

2.計画策定に向けた取組

④住民向けニーズ調査

□パブリックコメントを考える会 開催

プログラム

昼の部13:30~15:00
夜の部18:00~19:30



①はじめに・・・5分
②計画(案)の説明・・・20分
③質疑応答・・・15分
④意見交換・・・30分
⑤パブリックコメント記入・・・15分



広報くろしお 原稿用紙

黒潮町地球温暖化対策実行計画
パブリックコメント募集中心!

本年度策定中の「地球温暖化対策
実行計画」に対して、多くの方から
貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。
現在、黒潮町公式ホームページに同計画案を公開すると共に、
住民の皆様から広くご意見をい
ただき、その結果等を公表するパブ
リックコメントを募集しています。
そこで、「この計画案の説明会を兼
ねて、みなさんで話し合い、ご意見
をいただく場」として「パブリックコ
メントを考える会」を開催します。
個人ではなかなか思いつかない事
も、話し合いながら考えることで新
しい視覚に気づく機会もあります。
本日の内容で開催しますので、せ
ひ、お気軽にご参加ください。
◆パブリックコメントを考える会
日時 12月13日(火)
◎13:30~15:00 ◎18:00~19:30
(◎どちらからお越しください)
場所 黒潮町役場本庁1階ホール
お申し込み・お問い合わせ
は以下のページ(※PDF添付)
in:unhookodomo-kochi@nissai.com
TEL 081-8280-1183 (2F-4)

□目指す姿に向けてバックキャストで考える

『未来への想像力をもち続けること』

◆2031(R13)年度～2050(R32)年度
人が集い持続的発展を遂げる町づくり

◆2026(R8)年度～2030(R12)年度
本格的な地域への再エネ導入、省エネ化

◆2023(R5)年度～2025(R7)年度
CO2削減に向けた基盤(現状把握・効果測定の仕組み・体制)づくり

2023年7月21日（金）小・中規模自治体でもゼロカーボン行動計画！ 連続ウェビナー第1回「黒潮町」

B!

ツイート

いいね! 65

<https://www.kiconet.org/event/2023-07-21>

2023年7月21日（金）小・中規模自治体...
参加費無料

気候変動・気候変動とは、化石燃料の燃焼をはじめとした人...

小・中規模自治体でも
ゼロカーボン行動計画

連続ウェビナー第1回「黒潮町」

7月21日（金）12時から開催!

見る YouTube

近年、日本では国がカーボンニュートラル宣言を行ったことで、脱炭素社会に向けて2050年までにCO2排出実質ゼロを目指すことを表明する自治体「ゼロカーボンシティ」が増加しています。これまでに宣言を行った自治体の数は900を超え、ほぼ日本全土をカバーするまでになっています。さらにはより早く2030年度までにゼロを目指す脱炭素先行地域の選定も始まり、自治体においては脱炭素社会の実現は重要な地域課題となりつつあります。また、2022年4月に地球温暖化対策推進法が改正され、地域の温室効果ガス排出量の把握を行い、地域特性にあった対策・施策を盛り込んだ地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定を、都道府県、指定都市、中核市、施行時特例市は義務づけに、その他市町村は努力義務に引き上げられましたが、全国の自治体の策定率は33.9%（令和4年12月時点）程度と、まだ低い状態となっています。

第1回ウェビナーでは、昨年度に温暖化対策実行計画を策定した黒潮町の事例を紹介します。すべての都道府県に設置されている地域の地球温暖化防止活動推進センターが事務局に入って、町役場担当者、策定委員、他部局職員、住民有志らが協働して作成した黒潮町（高知県）（脱炭素先行地域にも2023年4月に選定された）の取り組み内容について、計画策定のプロセス・役割分担、今後の課題などについてご報告いただきます。

<https://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/juumin-carbonneutral/36975>

**第2回は長野県白馬村（7月31日）
第3回は秋田県＋湯沢市（8月3日）**

■ 事例報告者 [資料](#)

坂本 恒星さん（黒潮町 住民課 環境保全係）

中村 将大さん（高知県地球温暖化防止活動推進センター）

中谷 みどりさん（うみのこども、高知県地球温暖化防止活動推進員）

村上 弓恵さん（うみのこども、高知県地球温暖化防止活動推進員）

■ ゲスト登壇

平田 裕之さん（全国地球温暖化防止活動推進センター）

【コーディネーター】

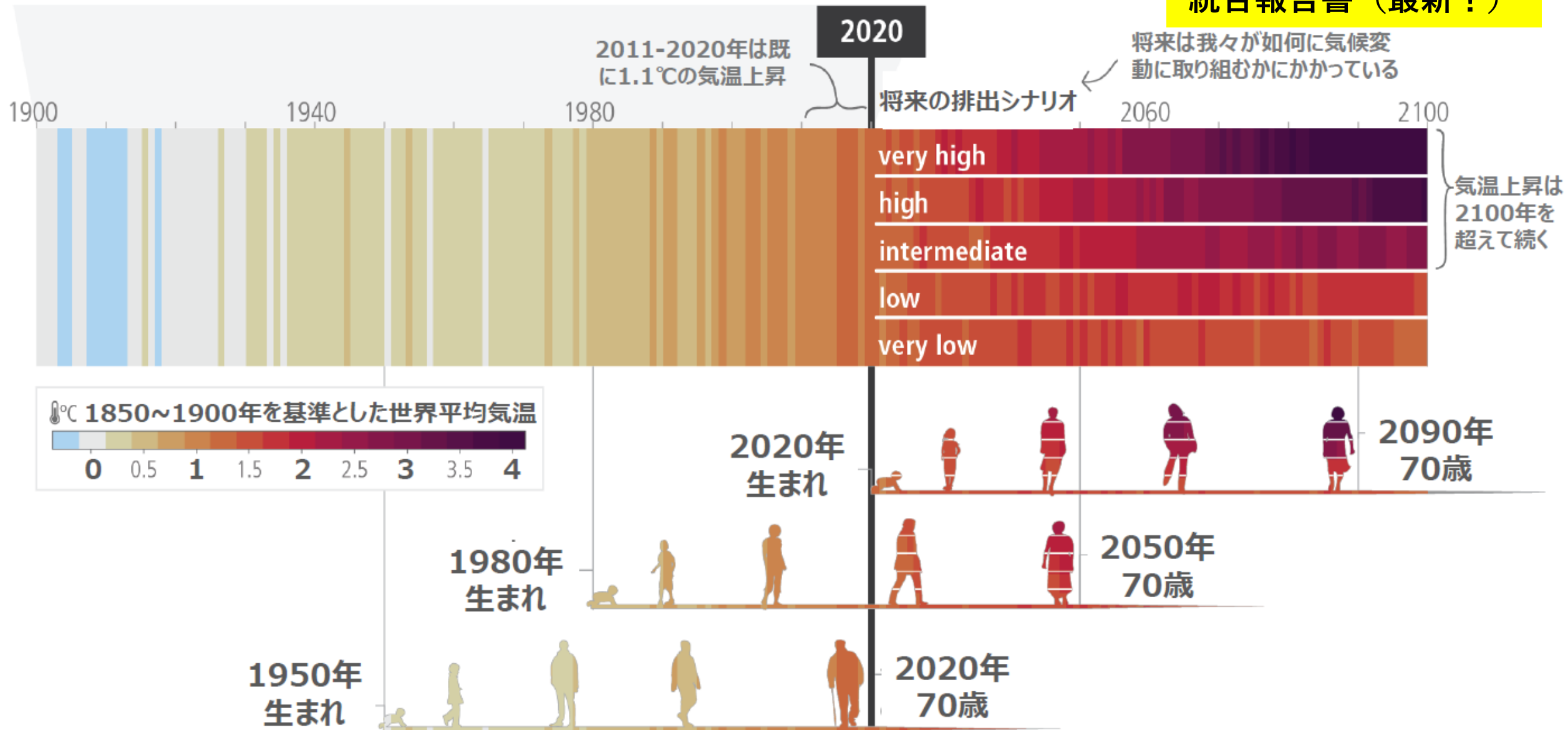
藤野 純一さん（地球環境戦略研究機関（IGES）、本企画担当）

【司会】

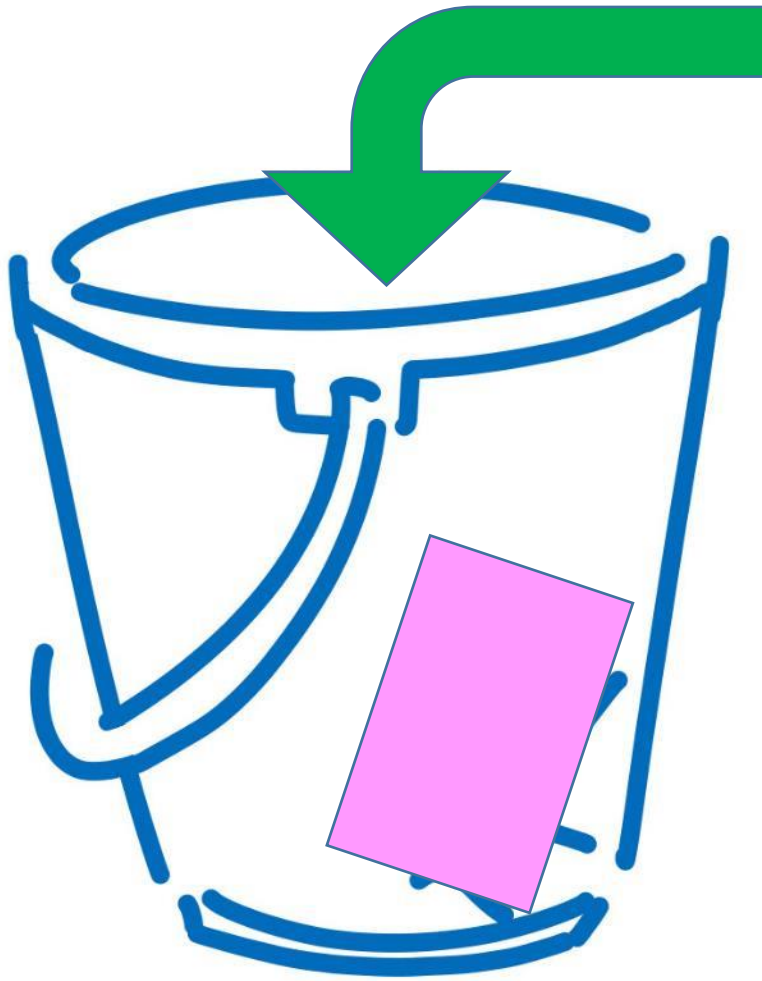
豊田 陽介さん（気候ネットワーク）

気温上昇とそれを経験する各世代の年齢

2023年3月
IPCC第6次評価報告書
統合報告書（最新！）



脱炭素を
バケツを使ってたとえるなら



- ①穴をふさぐ（省エネ）
- ②綺麗な水をそそぐ（再エネ等）
- ③適切なサイズへ

そして、地域を豊かにする！